

歯科医師会だより75号

私は白石歯科医師会の代表として10年前から刈田病院のNST（栄養サポートチーム）に月1回参加させていただき微力ながら病診連携の一端を担ってきました。その後、皆様ご存じのように一連の問題が解決し刈田病院は公設民営化され、本年4月から新病院長を迎え新たな病院として一步を踏み出しました。そこで新刈田病院との今後のあり方を模索するため7/12に非公式で地域連携室を訪ねました。私の知り合いの看護師、栄養士、ST、PT、OTの多くが退職し、地域連携室も3人いたMSWも1人になっていました。ただ幸いにもその時在室中の5人の職員は顔見知りだったのでいろいろな話が聞けました。主任も含め「全員平社員になりました」と言うのですが、その顔は明るく悲惨さは全く感じられませんでした。「新しい病院はどう？」と聞くと「以前と違い大変ですけどやりがいがあります。」との返事。盗聴でもされているのかと思うくらいの優等生の返事ですが、そうではなく本当に「私たちが新しい刈田病院を作るんだ」という意気込みが伝わってきました。刈田病院は昨年まで毎月7千万～1億円、年間約10億円の赤字経営でした。今年の4、5月はトントンか若干の黒字経営のようです。こんな短期間で月1億円近く収入が増えたのは信じられません。トップが交代し病院の方針も変わったと思いますが、何よりも職員1人1人の意識改革がこの結果をもたらしたとすれば素晴らしいことではないでしょうか？まだ始まったばかりだから最終評価には早いですが、1つの組織の変化として見習うところはあると思いました。

仙南歯科医師会会長 千木良 尚志

令和5年度 第5回 仙南歯科医師会 役員会

令和5年8月2日（水）19:00～20:55

歯科医師会室・zoomによるハイブリッド

会長	副会長	副会長	専務	常務	常務	会計	医療管理	地域保健	社保
千木良	目黒	小田部晃	飯淵信	井上	小屋	菅野真	西村	前田	清原憲
○	●	●	○	●	●	●	●	●	●
学術	在宅歯科	学校歯科	広報	総務	事務局	監事	監事	オブザーバー	
平井丈	武者	後藤拓	伊藤利	関根	井伊	小野	玉野井	小田部岳	
●	●	○	●	●	●	●	●	●	

歯科医師会室：○ Zoom：●

次 第

1. 開会 専務理事 飯淵 信也

2. 挨拶 会長 千木良 尚志

皆さんこんばんは。おとといに三役会（会長、副会長、専務）+α（前田先生）ということで、Zoomで2時間20分かけて今日の役員会のための打ち合わせをしました。三役会を無駄にしないよう、是非皆さん9時前に終割るようにご協力よろしくお願いたします。

3. 各支部報告

①柴田 7月29日に川崎町の小山修作候補の事務所に伺い千木良先生、小田部晃二郎先生、西村先生、山家先生の4名で陣中見舞いを実施、7月31日に村田町の大沼克己候補の事務所に宮齒細谷会長、小田部晃二郎先生、前田先生、榊原先生の4名で陣中見舞いをしたことを報告。

②白石 白石市では8月9日に歯科保健推進協議会、8月30日に白石支部の三師会講演会が予定されていることを報告。

③角田 7月29日に例会を開催し、12名が出席されたことを報告。丸森町では物価高騰対策の支援金20万の話があったことを報告。

4. 協議

1) 第1回定例会に関して（飯淵信先生）

定例会は8月25日（金）17:30~18:50、シンケンファクトリーセミナールームで開催、議長は前田先生。協議題は①法人化に関して、②ホームページに関して、③障がい児・者歯科保健医療整備体制事業に関して（→見送り予定）、④その他・サーバイメータの貸出について。

懇親会は19:00~21:00、シンケンファクトリービアレストランで開催、進行は総務委員会。

準備、タイムスケジュールについて確認。

※懇親会が終わる時間になると角田のタクシーは業務を終了している恐れがあります。角田でお酒を飲む際には、予め柴田や白石のタクシーや運転代行業者に予約をしておくことと安心かもしれません。

2) 施設協力医に関して（前田先生）

・岩沼歯科医師会は施設協力医、私立園医の契約に関与していない。仙南歯科医師会として施設協力医の契約についての指標は作成する、しかし強制はできない。現在結んでいる契約を変更させることはせず、新たに契約を結ぶときに仙南歯科医師会のガイドラインを参考に施設と協議し、契約していただくとの案を定例会で報告・提案することとなった。

・仙南歯科医師会が施設と契約し会員に業務委託する案（豊島区の歯科医師会が実施）も提案された。

・介護保険法改正で令和6年4月1日から口腔衛生の管理が義務化されるため、歯科医師（歯科衛生士）は年2回以上介護職員に講演（指導）をしなければならないとの情報提供があった。施設は義務的にひとりにつき1月1回90単位の算定となるので、施設協力医は有償で契約することが望ましいのでは。

3) その他

・施設基準の届出（定期報告）について（西村先生）

会員の先生方には前年度の報告書をしっかり管理（コピー）し、それを参照し7月の届出を完了して欲しい。Eラーニング関連を含め、わからない時は医療管理（学術・社保）に相談してください。

5. 報告

1) 会長（千木良先生）

令和5年度仙南地域医療対策委員会及び地域保健・健康推進部会の理事を仙南歯科医師会からは充て職で会長・副会長を推薦することを確認。今のところ保健所から立ち入り検査の話は出ていない。

2) 副会長

なし。

3) 宮歯理事（小屋先生）

第5回宮歯理事会について報告。決議事項の第1号から第5号議案すべて承認可決された。常務理事報告で令和5年度宮城県災害医療コーディネーター研修会が開催されなかったことを報告。理事会の運営について当面はWebで開催予定。会館の境界線の問題についてまとめたものを代議員に送付すること。歯科特殊健診について従業員の人数にかかわらず労働基準監督署への報告が義務付けられたため、仙南地区では9事業所が該当となった。検診を実施するためには産業歯科医研修会の受講が必須となるためEラーニングでの受講が推奨される。災害歯科支援チームの編成について地区歯科医師会に依頼が来るとのこと。佐藤勝先生と柏崎潤先生の偲ぶ会の定員に空きがあるので、参加して欲しいとのこと。

4) 宮歯常務理事（小田部岳先生）

今月の宮歯会報に新執行部のご挨拶が載っているのでご覧ください。佐藤勝先生と柏崎潤先生の偲ぶ会に是非ご参加していただきたい。青申関係として歯科簿記講座（電子帳簿の保存に対応）が10月と11月に合計6回で開催されることを報告。8月3日に大河原税務署に千木良会長と飯淵専務と3人で表敬訪問することを、8月4日に国税局と仙台北税務署に表敬訪問することを報告。

5) 専務理事（飯淵信先生）

会務報告について8月3日に大河原税務署に表敬訪問することを報告。仙南歯科医師会新年会は令和6年1月27日（土）または2月3日（土）で調整・検討していることを報告。第2回定例会は12月20日（水）を予定していることを報告。12月役員会は11月29日に変更となることを報告。事務員の募集について、紹介では見つからなかったので白石のハローワークを検討していることを報告。

6) 委員会

○地域保健・前田先生

歯科特殊健診について補足説明。宮歯を介して契約すると検診用紙など様々な準備をしてもらえるが、紹介手数料が発生するとのこと。

○学術・平井丈先生

7月27日に東北大学の山内教授のところに挨拶に伺い、学術講演会の打ち合わせをしたことを報告。生涯学習事業（ピロリン）の管理について協議、学術委員会が管理することとなった。学術委員会のPCが古く動作が重いので、新しいPCを購入することが承認された。

○医療管理・西村先生

8月25日に「歯と口の健康まつり川崎大会」の第2回実行委員会が開催予定であることを報告。医師会のゴルフコンペに関して今年は開催しないとの話があったことを報告。

○社保・清原憲先生

9月9日の社保講習会の出欠の返信状況について報告。施設基準の届出（定期報告）について追加説明。

7) その他

（後藤弘先生）地対（仙南地域医療対策委員会）に白石の三師会講演会の補助金を申請し、10万円支給の決定通知が届いたことを報告。

6. その他

（井上先生）病診連携会議の開催日時について確認。

（飯淵信先生）会長印の管理について確認。

7. 監事講評 監事 玉野井 修

今日は時間通りにほぼ終わりました。今回は新たな試みで三役会（三役による役員会の事前打ち合わせ）をしてみて、そのおかげかな…と思いますが、よくわかりません。とにかく皆真面目に執行なさっているので大変結構なことかなと思います。多少の意見の違いがあるでしょうけれども、協議しながら仲良く頑張っていきましょう。以上でございます。

8. 閉会 副会長 小田部 晃二郎

先生方どうも長時間にわたりご協議いただきましてありがとうございます。玉野井監事からもお話いただきましたが、9時前に終わることができそうなので、三役会開催の効果があったなあと感じたいところでございます。これを参考に今後どうするかご相談をさせていただきたいと思います。

暦を見ますともう来週には立秋ということになります。例年にはない猛暑が続いておりますが、どうぞ先生方ご自愛をいただきまして、8月25日の定例会には元気なお顔でまたお目にかかりたいと思います。それを祈念いたしまして閉会といたします。お疲れ様でした。

（議事録 総務 関根直輝）

<編集後記>

記録的な猛暑の中、西日本を中心に台風の影響が聞こえてきています。被害にあわれた方にお見舞いを申し上げたいと思います。

さて、改めて議事録を見ますと各委員会、各支部がそれぞれ大変精力的に会務に携わっていることが伝わってきます。これもひとえに会員の不利益を招かないようにという一貫した姿勢の表れだと感じています。仙南歯科医師会設立後、まもなくしてコロナ禍の世の中となり、思うように会務を遂行することができませんでしたが、徐々にそれも解消しているようです。今後、ますます本会が発展していくことを願ってやみません。

(副会長 小田部晃二郎)